

令和7年度事業報告書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人カシオペア医療介護支援センター

1 事業の成果

令和7年度は、前年度に整理した医療・介護・福祉資源情報を基盤として、在宅医療・介護連携の更なる推進とICTを活用した情報共有体制の充実に取組んだ。

地域内の多職種で構成されるカシオペアNET検討委員会及び包括支援部会を継続的に開催し、在宅医療・介護連携に係る課題の共有及び対応策の検討を行うとともに、カシオペアNETの機能強化及び参加施設の拡大を進めた。

また、医療・介護・福祉・行政関係者からの相談対応、研修の実施、会議等を通じた情報提供を行い、切れ目のない在宅医療・介護連携体制の構築に向けた取組みを推進した。

これらの取組みを通じて、医療・介護・福祉行政関係者間の連携強化とICTを活用した情報共有体制の整備を進め、地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療・介護連携体制の構築を図った。今後も関係機関と連携し、地域の実情に応じた継続的な支援を実施していく。

【項目別の取組状況】

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

①地域の医療・介護資源の情報収集・整理

- ・地域における医療・介護・福祉資源の把握及び関係機関との情報共有を目的として、カシオペアNET上の「カシオペア機関・施設窓口情報」の内容の充実に図るとともに、医療機関及び介護事業所等の情報整理及び更新を継続的に実施した。
- ・新たに医療・介護・福祉関係機関の会員加入を得るなど、カシオペアNET参加施設の拡大を進め、地域における連携体制の強化を図った。

【会員登録状況】

医療機関44件、介護事業所16件、福祉事業所1件、地域包括支援センター4件、行政機関等3件

②カシオペア地域医療・介護マップの作成

- ・既存の「カシオペア連邦介護・福祉マップ」及び「カシオペア連邦かかりつけ医マップ」の内容を見直し、医療機関及び介護事業所等の情報を一体的に整理した「カシオペア地域医療・介護マップ」の作成に向け、必要な情報の収集及び整理を実施した。

(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

①地域関係団体等による協議の実施

- ・医師、歯科医師、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、福祉行政職員等で構成するカシオペアNET検討委員会及び包括支援部会を開催し、在宅医療・介護連携に係る課題の把握及び対応策の検討を行い、地域における連携体制の強化を図った。
- ・ICTを活用した円滑な情報共有の推進及び地域包括ケアシステムの構築に向け、連携上の課題について情報交換及び意見交換を行うとともに、課題に応じた専門的検討を行うための協議を実施した。

【実施状況】

カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会の開催 3回

②各市町村及び関係機関との個別協議

- ・包括支援部会の取組みを加速させるため、行政職員、地域包括支援センター職員、介護施設職員等で構成する「二戸市包括」による検討を行うとともに、軽米地域における関係機関との個別協議等を必要に応じて随時実施した。

【実施状況】

各市町村及び関係機関との個別会議の開催 8回

③「在宅医療に必要な連携を担う拠点」としての取組

- ・二戸保健医療圏における「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として、ICTを活用した地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、在宅医療提供体制の整備及び関係機関との連携強化、医療・介護・福祉行政機関との連携調整を行い、地域における在宅医療連携体制の推進を図った。
- ・岩手県医療政策室担当者との意見交換を実施し、当NPO法人の活動内容、関係機関との連携状況、拠点としての取組状況及びカシオペアNETの構築状況について説明するとともに、県の支援状況等について情報共有を行った。また、岩手県医療政策室主催の「在宅医療に必要な連携を担う拠点研修会」に出席し、県内各拠点の活動状況について共有し課題の把握を行った。

【実施状況】

岩手県医療政策室との意見交換及び拠点研修会への参加 2回

(3) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

①多職種連携体制の構築

- ・カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会において継続的な協議を行い、在宅医療の提供に必要な機能の確保に向けた意見交換及び情報共有を実施した。
- ・在宅医療に関わる関係機関の連携強化に向けた協議を実施し、多職種協働による支援体制の充実を図るとともに、退院支援から在宅療養、終末期医療までを見据えた連携体制について意見交換及び情報共有を行った。

②救急行政との連携による終末期患者対応体制の整備

- ・救急行政と連携し、「心肺蘇生等を望まない意思が示された傷病者に対する救急活動プロトコール」に関する情報共有及び運用に関する理解促進を図った。
- ・当NPO法人理事会での説明及び医療機関、訪問看護事業所、介護関係機関等を対象とした説明会の開催を支援し、終末期患者の意思決定を尊重した救急蘇生対応に関する理解促進及び関係機関間の連携強化を図った。

【実施状況】

終末期患者の情報共有に向けた説明会の開催支援 3回

③情報共有ツールの活用及び機能強化

- ・ICTを活用した地域包括ケアシステムによる在宅医療・介護連携の推進を目的として、カシオペアNET（カシオペア地域包括ケア・ネットワークシステム）の活用を推進した。
- ・カシオペアNETのスペース及びスレッド機能を活用し、関係機関間の情報共有の促進を図った。
- ・さらに、これまで訪問診療及び訪問看護で利用していたアプリを再構築・発展させ、ファーストフェーズとして「地域包括ケア支援アプリ」及び「介護認定審査支援アプリ」を作成した。今後、説明会を開催し、関係機関への活用拡大を図っていく。

【利用状況】

カシオペアNET参加施設数91施設、ユーザー数268名

- ・包括支援部会での協議を踏まえ、カシオペアNETを活用し、行政職員、地域包括支援センター職員、介護施設職員等の関係機関間における情報共有及び連絡調整の円滑化を図った。
- ・介護保険審査意見書及び主治医意見書等の共有方法について検討するとともに、介護認定審査に係る連携支援として、行政担当者、地域包括支援センター、介護施設関係者等との打ち合わせ及びデモ説明会を実施し、関連アプリの開発及び検討を進めた。
- ・なお、厚生労働省が進める介護情報基盤については、県及び市町村と情報共有を行い、基盤の運用について当NPO法人が進めるシステムと競合のないシステム運用を行うこととして確認を進めている。

(4) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

①医療・介護・福祉行政関係者からの相談対応

- ・関係者からの在宅医療・介護連携及びカシオペアNETの利用に関する相談に随時対応し、必要に応じて関係機関との調整を行った。
- ・会議及び研修会等への講師派遣依頼について調整を行い、地域における連携推進に向けた支援を実施した。

②各市町村及び地域包括支援センターとの連携

- ・各市町村及び地域包括支援センターと連携し、会議等への出席を通じて関係機関との連携強化を図るとともに、在宅医療・介護連携に関する普及啓発支援を実施した。

(5) 地域住民への普及啓発

①講演会・セミナー等の開催

- ・一戸町在宅医療セミナーを共催し、在宅医療及び終末期医療に関する理解促進を図った。

②カシオペア講座への講師派遣等

- ・福岡高等学校カシオペア講座「医療・看護コース」において講師の選定及び調整を行い、6講義2クール（全12回）の講義を実施した。
- ・地域医療の現状や医療・介護・福祉分野における多職種連携の取組みについて紹介し、地域医療への理解促進及び将来的な人材育成につながる教育的取組を実施した。

③ホームページ運営及び広報誌の発行

- ・ホームページに講演会案内、活動報告、ACPに関するノートの紹介等を掲載し、随時更新を行った。
- ・当NPO法人広報紙「カシオペアネットワーク通信」を発行し、講演会等で配布するとともにホームページへ掲載し、活動内容の周知を図った。

【発行状況】

カシオペアネットワーク通信の発行 3回

(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①情報共有ツールの整備・運用

- ・医療・介護関係者間の円滑な情報共有を促進するため、ICTを活用したカシオペアNETの構築及び運用を進め、地域包括ケアシステムに対応した連携システムとするための機能拡充を実施した。

- ・カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会において、地域の現状及び将来を見据えたICT活用によるシステム整備について協議を行い、継続的な改善を図った。
- ・関係機関が実施する講演会及び研修会等の情報発信にカシオペアNETを活用し、迅速かつ円滑な情報共有を支援した。

②会議・研修会等への参加及び情報提供

- ・関係機関が実施する会議・研修会等へ参加し、カシオペアNETを活用した情報共有の取組みについて説明及び情報提供を行い、在宅医療・介護連携への理解促進を図った。
- ・関係機関からの依頼に対応し、各種会議及び研修会等において地域連携の取組みの周知及び多職種間の理解促進を図った。
- ・9月11日開催の一関市医師会主催「地域医療情報ネットワーク研修会」においては、当NPO法人高橋理事長がカシオペア地域におけるICTを活用した医療・介護・福祉連携の取組みについて講演を行った。
- ・各市町村及び関係機関が開催する会議・研修会並びに他地域で開催される関連会議等へ出席し、広域的な情報収集及び共有を行った。

【実施状況】

会議・研修会等への参加、講演及び情報提供の実施 14回

(7) 知識習得のための研修など地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

①カシオペアNETフォーラムの開催

- ・医療・介護・福祉行政関係者を対象に、在宅医療・終末期医療に関する理解の深化及びICTを活用した多職種連携の推進を目的として、第4回カシオペアNETフォーラムを開催した。また、多職種で検討・構築を進めてきたカシオペアNETアプリのファーストフェーズの構築状況について活動報告を実施した。

【開催実績】

第4回カシオペアNETフォーラム（12月19日開催）

会場：二戸市シビックセンター 1階ホール

講演：「多職種連携はもう古い ～新しいステージへ～」

講師 大友 宣 氏（医療法人財団老蘇会 静明館診療所 理事（医師））

活動報告：「カシオペアNET」システム、ファーストフェーズの構築内容について

参加者：医療・介護・福祉行政関係者 計52名

②操作説明の実施

- ・カシオペアNETの構築及び機能拡充にあわせてデモ説明会を実施し、ICTを活用した情報共有への理解促進及び実務能力の向上を支援した。

【実施状況】

デモ説明会の開催 3回

2 事業の実施に関する事項

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
在宅医療介護連携推進事業	地域の医療・介護資源の把握及び活用のための情報収集・整理、関係機関の連携体制の構築及び多職種連携の推進、医療・介護・福祉行政関係者からの相談対応、地域住民への普及啓発、医療・介護関係者の情報共有の支援	通年	二戸市 一戸町 軽米町 九戸村	4人	・病院、医科・歯科診療所、薬局、訪問看護事業所、介護事業所及び行政機関等 (約250事業所) ・二戸市、一戸町、軽米町及び九戸村に居住する全ての住民 (約47千人)
医療機関、介護系施設等における情報通信技術を活用した診療情報等の共有化を推進する事業	カシオペアNET検討委員会及び包括支援部会の開催、関係機関との打ち合わせ及びデモ説明会の実施、カシオペアNETの活用推進	通年	同上	4人	同上
セミナー・研修会等の見識を広げる(深める)事業	カシオペアNETフォーラムの開催、カシオペアNET操作説明の実施	通年	同上	4人	同上
福祉・介護・医療情報ネットワークの運営事業	カシオペアNETの構築・運営	通年	事務局	4人	同上
福祉・介護・医療情報ネットワークに係るホームページ運営事業	ホームページの運用、情報更新	通年	事務局	4人	同上